

## 洪水時の避難所(神田川・日本橋川・隅田川)

番号	施設名	所在地	番号	施設名	所在地
①	麹町小学校	麹町2-8	⑩	区立スポーツセンター	内神田2-1-8
②	九段小学校	三番町16	⑪	神田さくら館	神田司町2-16
③	番町小学校	六番町8	⑫	昌平童夢館	外神田3-4-7
④	麹町中学校	平河町2-5-1	⑬	ちよだアートスクエア (旧アーツ千代田3331)	外神田6-11-14
⑤	都立日比谷高校	永田町2-16-1			
⑥	富士見みらい館	富士見1-10-3	⑭	ちよだパークサイドプラザ	神田和泉町1
⑦	九段生涯学習館	九段南1-5-10	⑮	旧今川中学校	鍛冶町2-4-2
⑧	お茶の水小学校	神田猿樂町1-1-1	⑯	都立一橋高校	東神田1-12-13
⑨	神田一橋中学校	一ツ橋2-6-14	⑰	岩本町ほほえみプラザ	岩本町2-15-3

## 注意報や警報の意味を理解しておこう

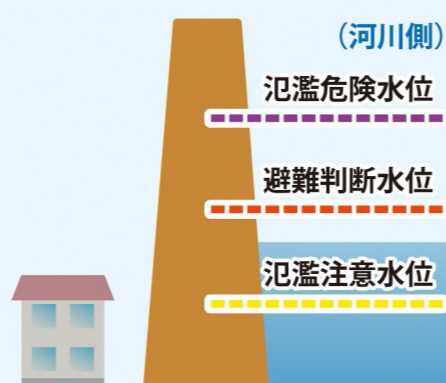
気象庁は、大雨や強風などによって災害が起こるおそれのあるときは、その危険度に応じて「特別警報」、「警報」、「注意報」、「情報」を発表して注意や警戒を呼びかけます。千代田区は、テレビ放送などでは「23区西部」地域となることがあります。

名称	種類	発表基準
特別警報	大雨、暴風、暴風雪、大雪、波浪、高潮	重大な災害の起こるおそれが著しく高まっている場合
警報	大雨、洪水、暴風、暴風雪、大雪、波浪、高潮	重大な災害が起こるおそれがある場合
注意報	大雨、洪水、強風、風雪、大雪、波浪、高潮、雷、融雪、濃霧、乾燥、なだれ、低温、霜、着氷、着雪	災害が起こるおそれがある場合
情報	記録的短時間大雨情報、土砂災害警戒情報、台風、低気圧、大雨、大雪、少雨、長雨、黄砂など	注意報・警報を補完する必要がある場合など

※注意報や警報は、予想される現象が発生するおおむね3～6時間前に発表することとされています。(ただし短時間の強い雨に関する大雨警報・注意報及び洪水警報・注意報については、おおむね2～3時間前に発表することとされています。)

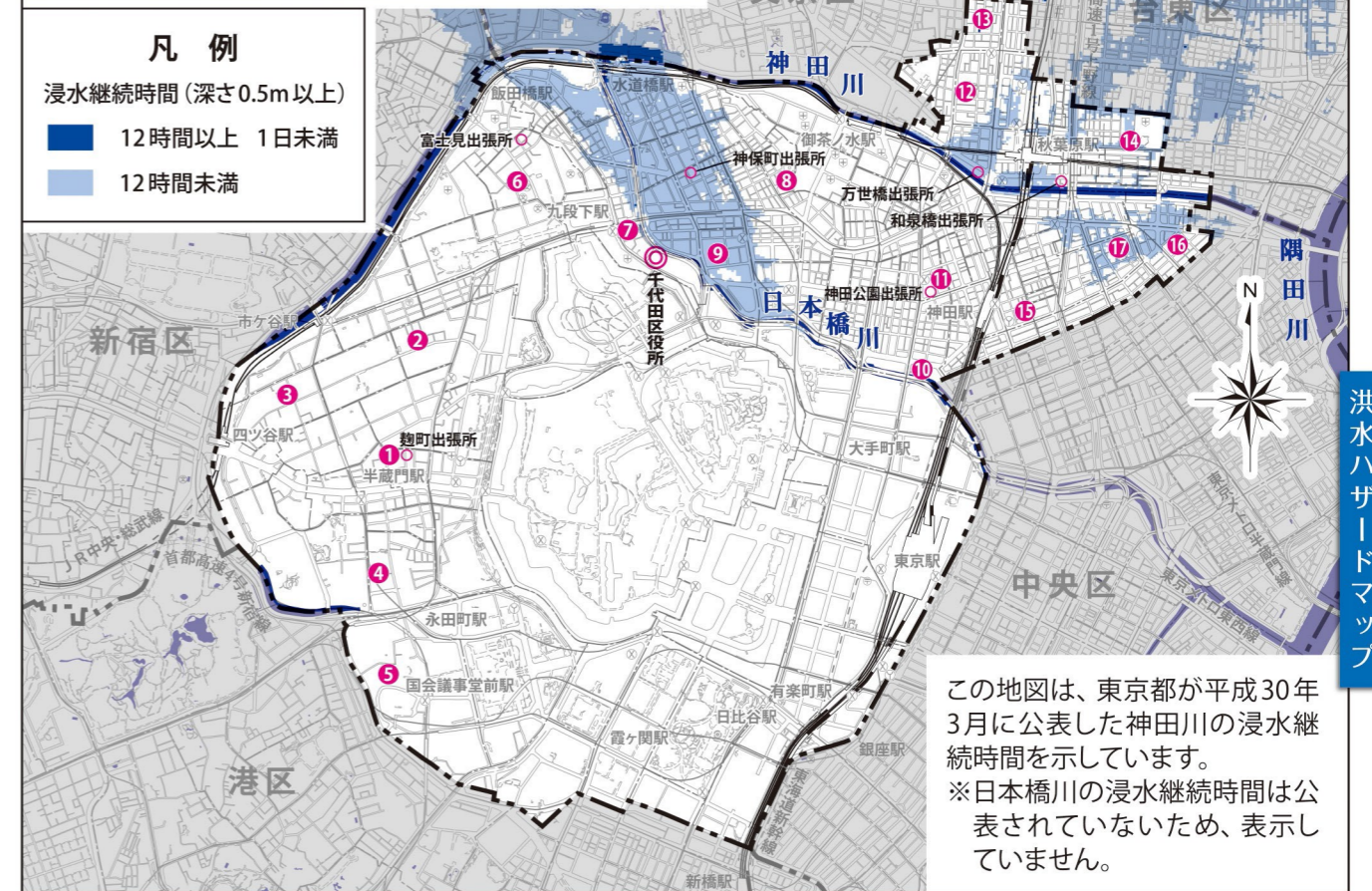
## 区民のみなさんがとるべき行動

千代田区では、災害の発生するおそれが高まったと判断されたときに、下記の種類の避難情報を発令します。避難情報は必ずしもこの順番で発令されるとは限りません。また、これらの情報が発令されていなくても、最新の気象情報等をこまめに確認し、身の危険を感じる場合は避難を開始してください。

警戒レベル	とるべき行動	避難情報等	避難情報等の発表の基準となる水位(目安)※
警戒レベル5	既に災害が発生または切迫しており、屋内の上階への避難など直ちに命を守る行動をとる。(垂直避難等)	緊急安全確保	 <p>(河川側) 氾濫危険水位 避難判断水位 氾濫注意水位</p>
警戒レベル4	災害発生のおそれが高いため、危険な場所から全員避難する。(水平避難等)	避難指示	
警戒レベル3	高齢者等は避難を開始する。その他の人は避難準備をする。	高齢者等避難	
警戒レベル2	ハザードマップを見て、避難に備えた避難行動を確認する。	注意報	
警戒レベル1	天気予報等を見て、災害への心構えを高める。	早期注意情報(警報級の可能性)	
			<p>千代田区が発令</p> <p>気象庁が発表</p> <p>※基準となる水位はあくまで目安です。雨の状況など気象情報等を総合的に判断して、区は避難情報を発令します。</p>

## 洪水ハザードマップ

### 神田川版(浸水継続時間)



神田川版  
(浸水継続時間)  
洪水ハザードマップ

## 洪水の種類と起こり方

洪水には大きく分けて「外水氾濫」と「内水氾濫」があります。

### 外水氾濫

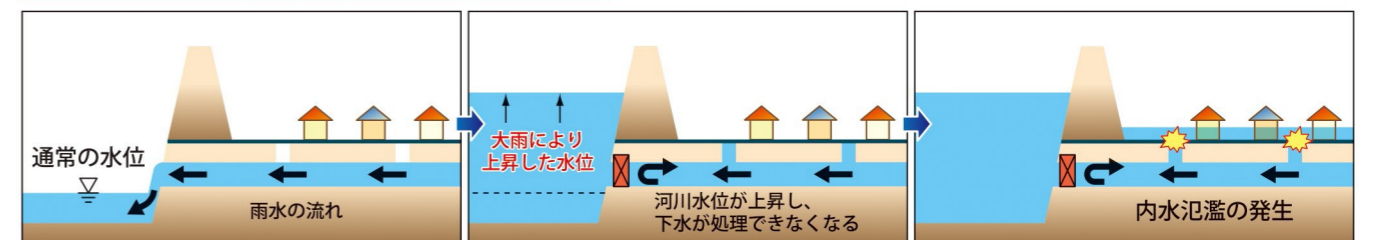
・堤防から水があふれ出す。 ・堤防が決壊する。

### 内水氾濫

・降った雨がその場に溜まる。  
・下水道の排水能力を超える雨が降る。  
・排水先の河川の水位が高くて排水できない。



## 水害発生メカニズム(内水氾濫)



平常時は排水先の河川水位が低いので、雨は下水道(雨水管)を通して排水が行われます。

大雨による河川の増水時に河川水位が上昇し、下水道(雨水管)の水位を上回ると逆流現象が起こるため、水門を閉めて逆流を防ぎます。

河川の水位が下がらないと下水道(雨水管)の流水があふれ出し、合流点付近で氾濫被害が生じます。これを内水氾濫といいます。